

仙台市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 策定のための実態調査報告（抜粋）

平成 23 年 1 月

仙台市健康福祉局保険高齢部高齢企画課・介護保険課

仙台市高齢者保健福祉計画策定のための 実態調査報告

- 設問項目ごとの集計結果 -

< 調査項目 >

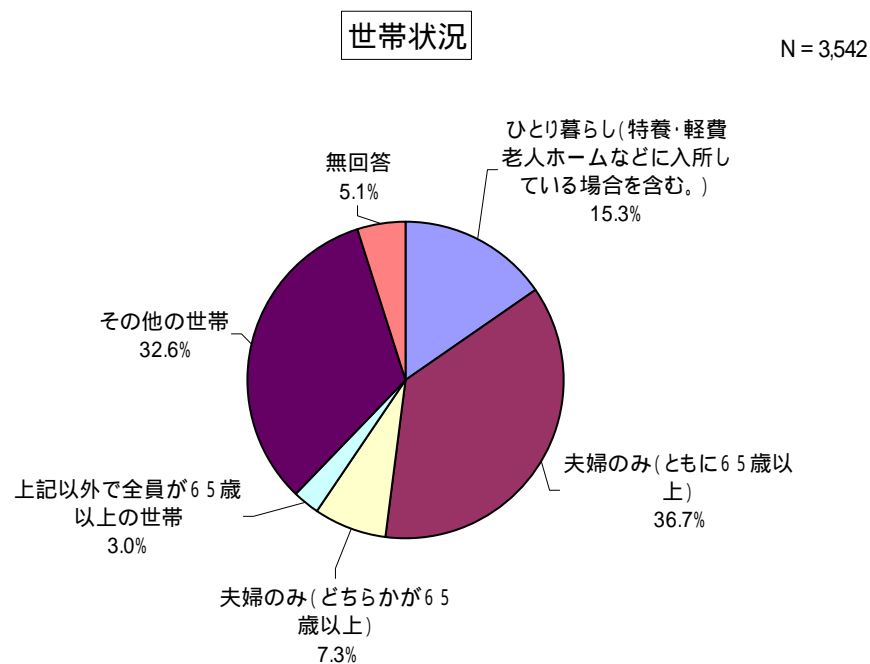
1. 調査対象者の属性
2. 健康状態について
3. 日常生活について
4. 仕事について
5. ボランティア活動への参加状況と今後の参加意向について
6. 高齢者自身の社会貢献について
7. 外出について
8. 買い物について
9. 住宅、介護を受けたい場所について
10. 介護保険料について
11. 介護保険制度について
12. 地域包括支援センターについて
13. 今後利用したい高齢者福祉サービスについて
14. 高齢者福祉サービスの利用者負担金について
15. 介護予防について
16. 認知症対策について
17. 健康や福祉に関する相談先・情報源について
18. 高齢者虐待の防止について
19. 孤立死について
20. 災害時の安否確認について

1 - (5) 世帯状況 (単数回答)

問2 - 4 世帯の状況は、次のどれですか。(あてはまるもの1つに)

- 1 . ひとり暮らし(特別養護老人ホームや軽費老人ホーム(ケアハウス等)などに入所している場合を含む。)
- 2 . 夫婦のみ(ともに65歳以上)
- 3 . 夫婦のみ(どちらかが65歳以上)
- 4 . 上記以外で全員が65歳以上の世帯
- 5 . その他の世帯

世帯の状況は、「夫婦のみ(ともに65歳以上)」が36.7%を占めて最も多く、次に「その他の世帯」が32.6%が続いている。なお、65歳以上のみの高齢世帯は55.0%で、前回調査(平成19年度)より5.1ポイント高くなっている。

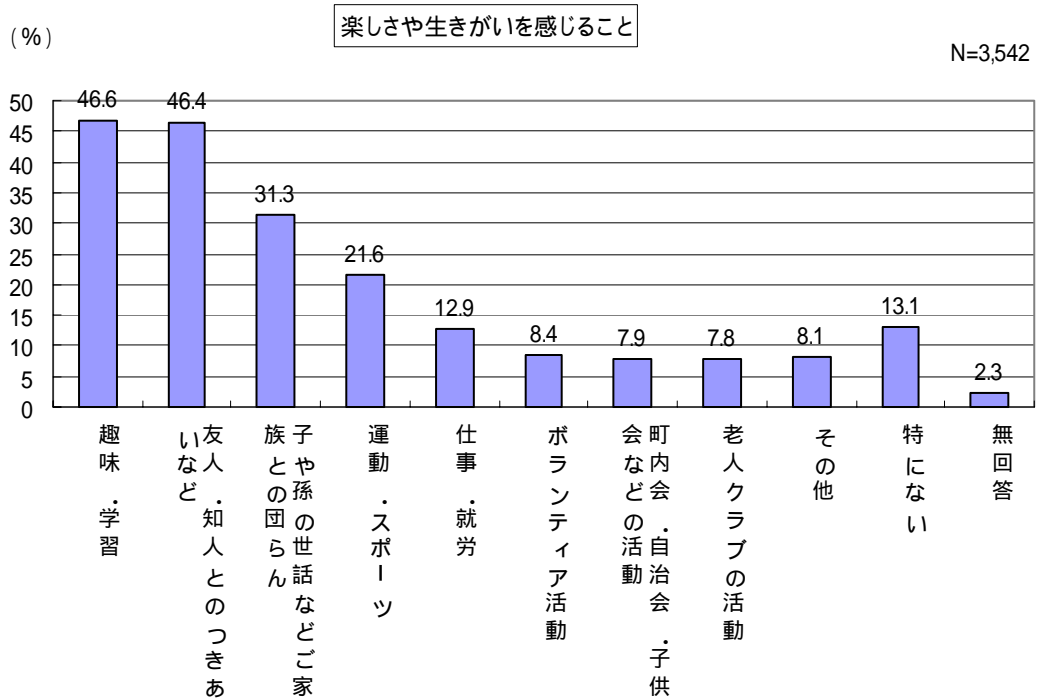


3 - (3) 楽しさや生きがいを感じること(複数回答)

問6 ご本人は、現在の生活の中で、どのようなことに楽しさや生きがいを感じていますか。(あてはまるものすべてに)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 町内会・自治会・子供会などの活動 | 6. 仕事・就労 |
| 2. 老人クラブの活動 | 7. 友人・知人とのつきあいなど |
| 3. 趣味・学習 | 8. 子や孫の世話などご家族との団らん |
| 4. 運動・スポーツ | 9. その他() |
| 5. ボランティア活動 | 10. 特にな |

楽しさやいきがいを感じることは、「趣味・学習」(46.6%)、「友人・知人とのつきあいなど」(46.4%)の両者が多く、次に「子や孫の世話など家族との団らん」(31.3%)が続いている。また、13.1%の方が「特にな」と回答しているが、前回調査(平成19年度調査)では14.2%、とその割合はほぼ同様である。なお、前回調査では、「友人・知人とのつきあいなど」が47.9%と最も多く、「趣味・学習」が45.0%と2位であったが、今回調査では両者の順位が入れ替わった。



8 - (3) 買い物の利便性 (単数回答)

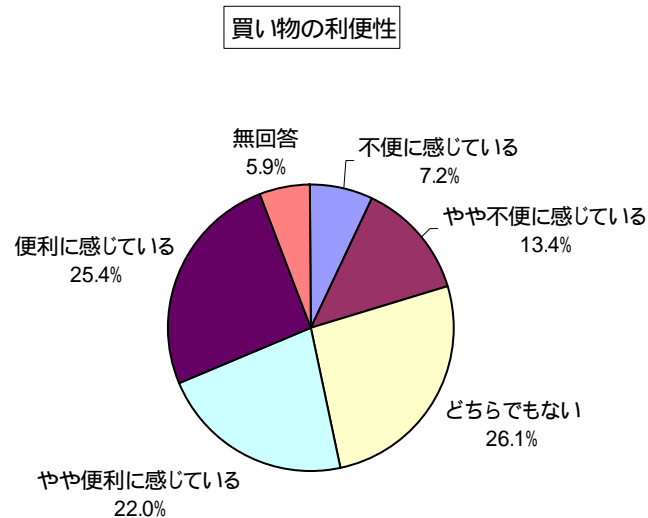
(引き続き、問11-1で「1」～「5」のいずれかに回答した方におたずねします。)

問11-3 ご本人は、普段の食料品や日用品の買い物についてどのようにお感じですか。

(あてはまるもの1つに)

1. 不便に感じている
2. やや不便に感じている
3. どちらでもない
4. やや便利に感じている
5. 便利に感じている

買い物の利便性についての考えは、「どちらでもない」が26.1%を占めて最も多く、次に「便利に感じている」(25.4%)、「やや便利に感じている」(22.0%)と続いている。なお、「やや不便に感じている」(13.4%)と「不便に感じている」(7.2%)を合わせた「不便」との回答は20.6%と約2割である。



8 - (4) 買い物の不便さを解消するために利用したいサービス(単数回答)

(問11-3で「1.不便に感じている」「2.やや不便に感じている」と回答した方におたずねします。)

問11-4 買い物の不便さを解消するために利用したいサービスはありますか。次にあげる ~ の各項目それぞれについて、該当する番号1つに をつけてください。

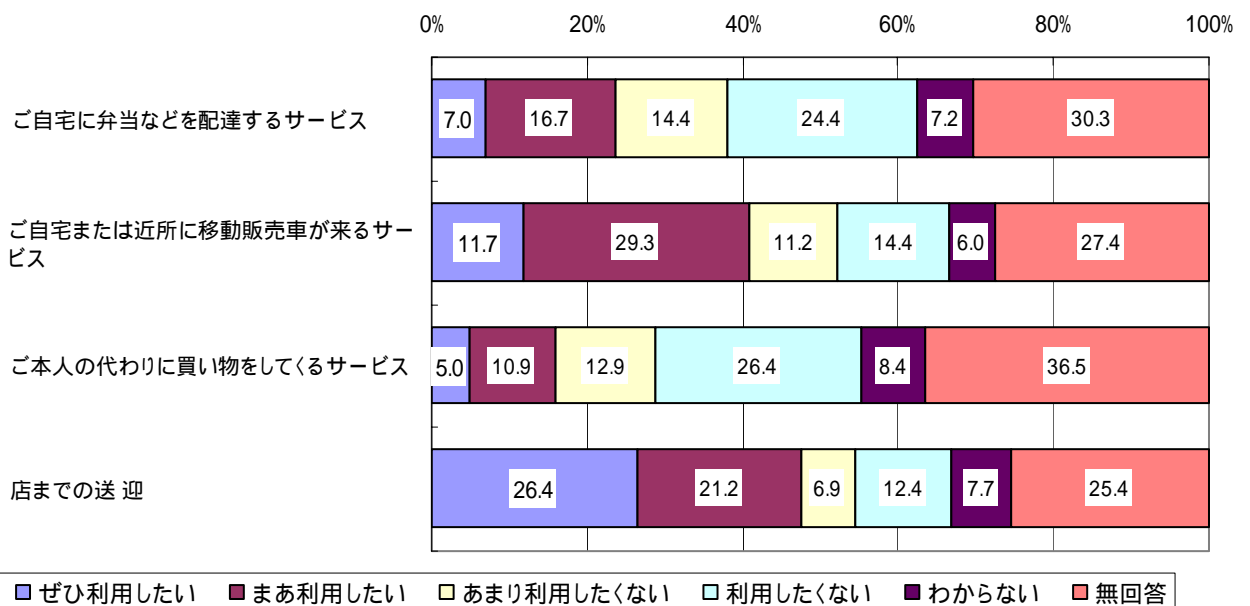
(~ それぞれあてはまるもの1つに)

	ぜひ利用したい	まあ利用したい	あまり利用したくない	利用したくない	わからない
ご自宅に弁当などを配達するサービス	1	2	3	4	5
ご自宅または近所に移動販売車が来るサービス	1	2	3	4	5
ご本人の代わりに買い物をしてくるサービス	1	2	3	4	5
店までの送迎	1	2	3	4	5

買い物の不便さを解消するために利用したいサービスについて、「利用したい」と「まあ利用したい」を合わせた『利用したい』との回答は、「店までの送迎」が47.6%と最も多く、次に「ご自宅または近所に移動販売車が来るサービス」(41.0%)が続いている。なお、「ご自宅に弁当などを配達するサービス」は、『利用したい』(23.7%)よりも、『あまり利用したくない』と『利用したくない』を合わせた『利用したくない』(38.8%)の方が多く、「ご本人の代わりに買い物をしてくるサービス」も、『利用したい』(15.9%)よりも『利用したくない』(39.3%)の方が多い。

買い物の不便さを解消するために利用したいサービス

N = 598



12. 地域包括支援センターについて

12 - (1) 地域包括支援センターの認知度 (単数回答)

問 21 - 1 地域住民の保健医療の向上や、福祉の増進を支援する施設として、市内に 44 箇所の地域包括支援センターがあります。ご本人は、地域包括支援センターについて知っていますか。

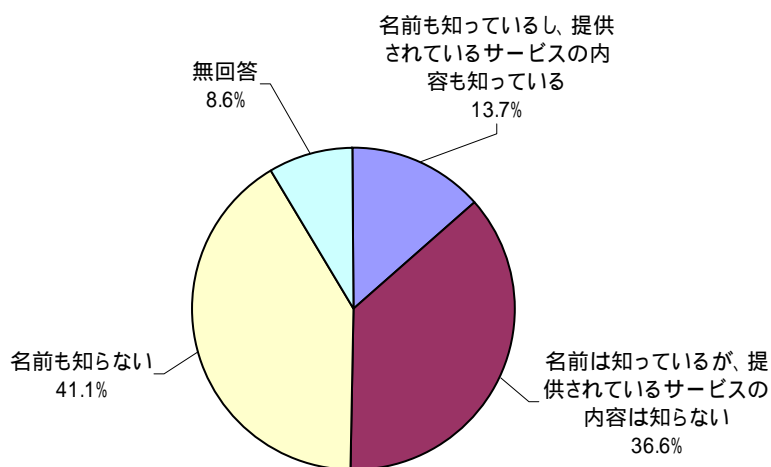
(あてはまるもの1つに)

- 1 . 名前も知っているし、どのようなサービスが提供されているかも知っている
- 2 . 名前は知っているが、どのようなサービスが提供されているかは知らない
- 3 . 名前も知らない

地域包括支援センターの認知度は、「名前は知っているが、提供されているサービスの内容は知らない」(36.6%)と「名前も知っているし、提供されているサービスの内容も知っている」(13.7%)を合わせた「知っている」が50.3%と約5割以上を占める。一方で、「名前も知らない」(41.1%)が約4割ある。

地域包括支援センターの認知度

N = 3,542



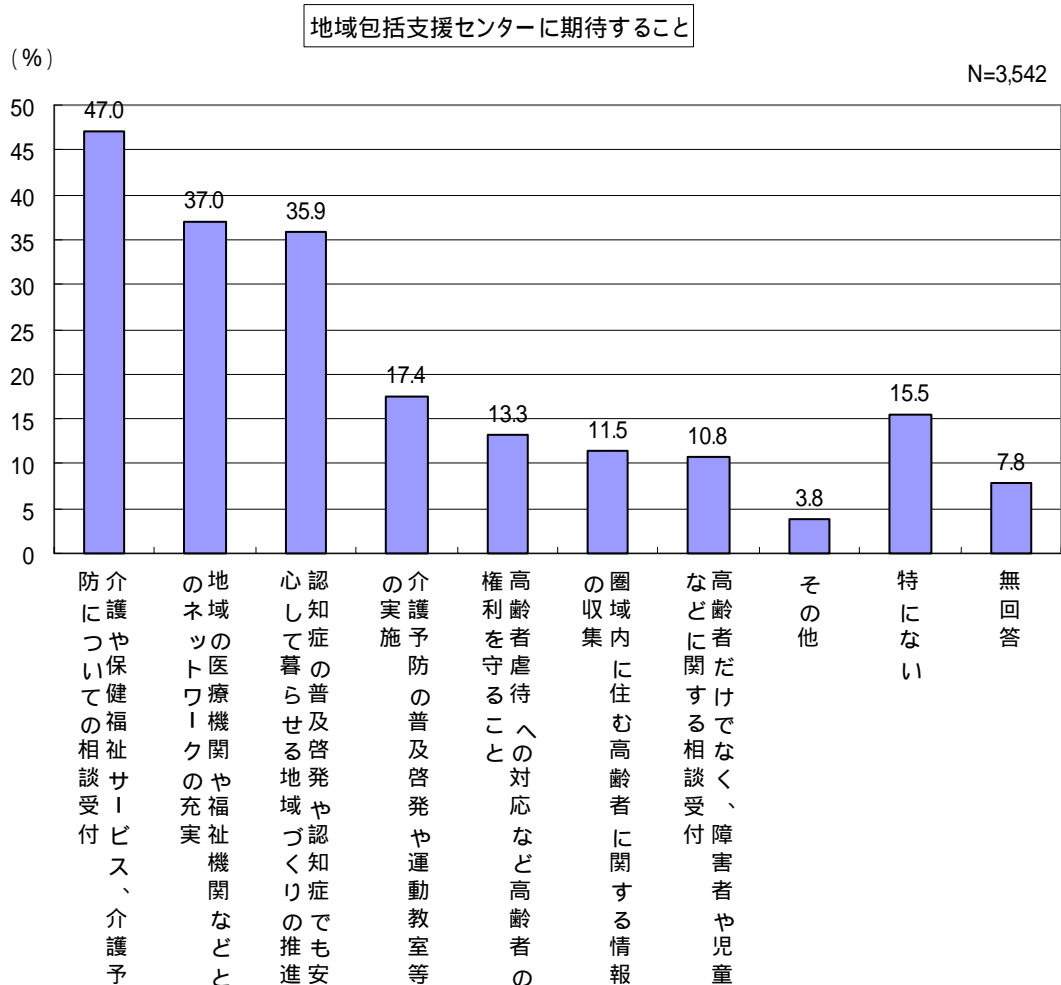
12 - (4) 地域包括支援センターに今後期待すること (複数回答)

問 21 - 4 ご本人は、地域包括支援センターに今後どのようなことを期待しますか。

(主なもの3つまでに)

1. 介護や保健福祉サービス、介護予防についての相談受付
2. 成年後見制度の利用の相談受付や、高齢者虐待への対応など高齢者の権利を守ること
3. 地域の医療機関や福祉機関などとのネットワークの充実
4. 介護予防の普及啓発や運動教室等の実施
5. 認知症に関する普及啓発や、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりの推進
6. 圏域内に住む高齢者に関する情報の収集
7. 高齢者だけでなく、障害者や児童などに関する相談受付
8. その他 ()
9. 特にない

地域包括支援センターに今後期待することは、「介護や保健福祉サービス、介護予防についての相談受付」(47.0%)が最も多く、次に「地域の医療機関や福祉機関などとのネットワークの充実」(37.0%)、「認知症に関する普及啓発や、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりの推進」(35.9%)が続いている。



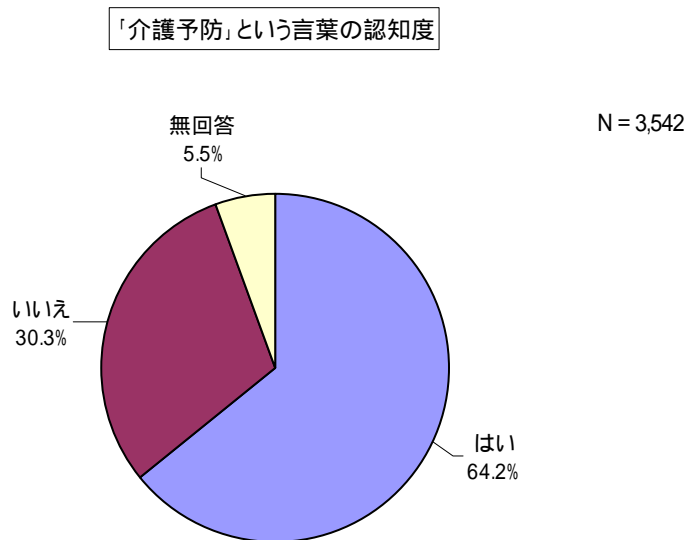
15. 介護予防について

15 - (1) 「介護予防」という言葉の認知度 (単数回答)

問 24 - 1 ご本人は、「介護予防」という言葉を聞いたことがありますか。(あてはまるもの1つに)

1 . はい 2 . いいえ

「介護予防」という言葉については、聞いたことがある人が64.2%と6割以上を占め、聞いたことがないという人は30.3%である。



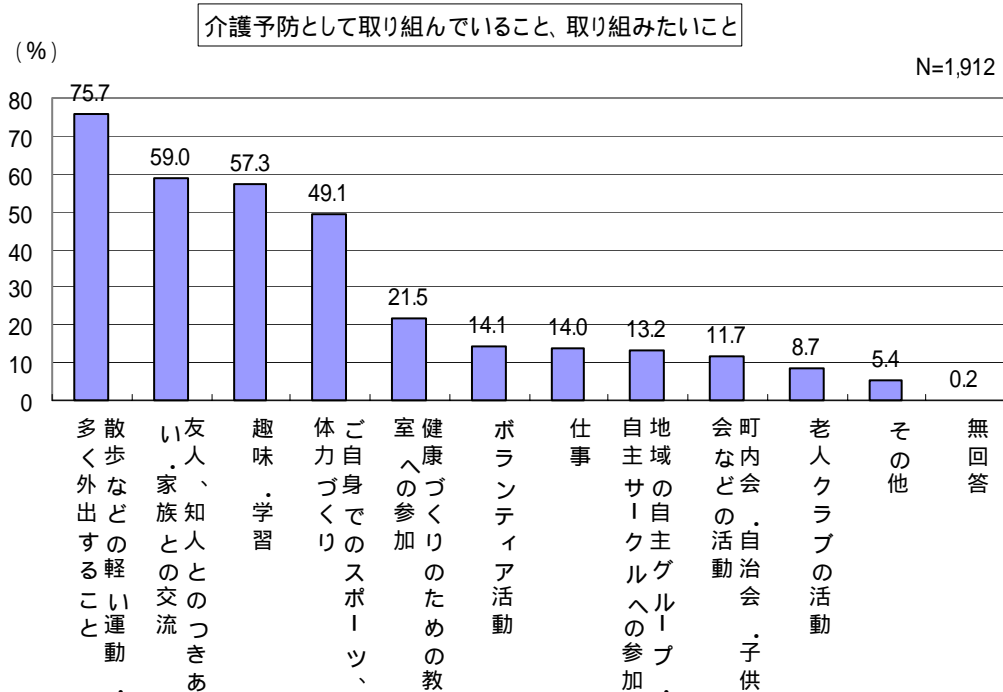
15 - (3) 介護予防のため取り組んでいること、取り組みたいこと (複数回答)

(問24-2で「1.はい」と回答した方におたずねします。)

問24-3 ご本人が、介護予防として、今取り組んでいること、または、今後取り組んでみたいことは、何ですか。(あてはまるものすべてに)

1. ご自身でのスポーツ、体力づくり
2. 健康づくりのための教室への参加
3. 地域の自主グループ・自主サークルへの参加
4. 散歩などの軽い運動・多く外出すること
5. 老人クラブの活動
6. 町内会・自治会・子供会などの活動
7. ボランティア活動
8. 友人、知人とのつきあい・家族との交流
9. 趣味・学習
10. 仕事
11. その他()

介護予防として今取り組んでいること、または今後取り組んでみたいことは、「散歩などの軽い運動・多く外出すること」(75.7%)が最も多く、次に「友人、知人とのつきあい・家族との交流」(59.0%)、「趣味・学習」(57.3%)が続いている。



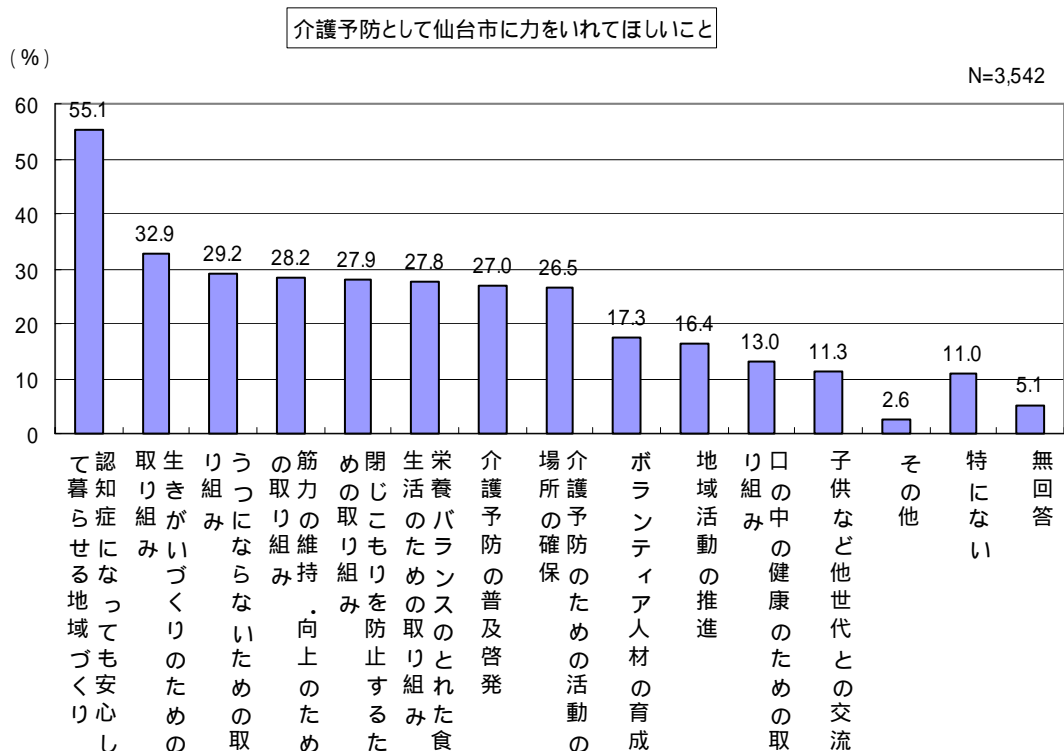
15 - (5) 介護予防として仙台市に力をいれてほしいこと (複数回答)

問 24 - 5 ご本人が、介護予防として、今後仙台市に力をいれてほしいことは、次のうちどれですか。

(あてはまるものすべてに)

1 . 筋力の維持・向上のための取り組み	8 . 生きがいづくりのための取り組み
2 . 栄養バランスのとれた食生活のための取り組み	9 . 子供など他世代との交流
3 . 口の中の健康のための取り組み	10 . 介護予防の普及啓発
4 . 閉じこもりを防止するための取り組み	11 . 介護予防のための活動の場所の確保
5 . 認知症になっても安心して暮らせる地域づくり	12 . ボランティア人材の育成
6 . うつにならないための取り組み	13 . その他 ()
7 . 地域活動の推進	14 . 特にない

介護予防として仙台市に力をいれてほしいことは、「認知症になっても安心して暮らせる地域づくり」(55.1%)が最も多く、次に「生きがいづくりのための取り組み」(32.9%)、「うつにならないための取り組み」(29.2%)、「筋力の維持・向上のための取り組み」(28.2%)が続いている。



16. 認知症対策について

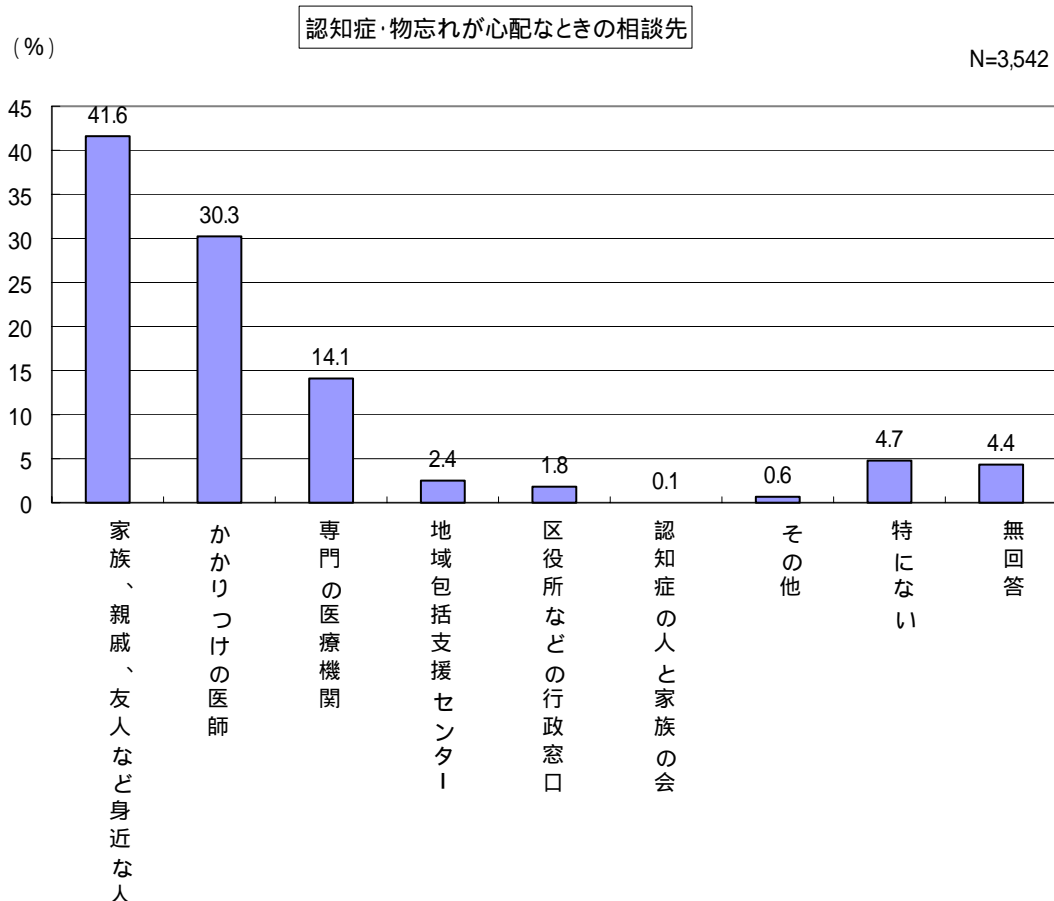
16 - (1) 認知症・物忘れが心配なときの相談先 (単数回答)

問 25 - 1 ご本人やご家族などの認知症・物忘れが心配なときに、まずどちらに相談しますか。

(あてはまるもの1つに)

1. 家族、親戚、友人など身近な人	5. 区役所などの行政窓口
2. かかりつけの医師	6. 認知症の人と家族の会
3. 専門の医療機関	7. その他 ()
4. 地域包括支援センター	8. 特にない

認知症・物忘れが心配なときの相談先は、「家族、親戚、友人など身近な人」(41.6%)が最も多く、次に「かかりつけの医師」(30.3%)、「専門の医療機関」(14.1%)が続いている。

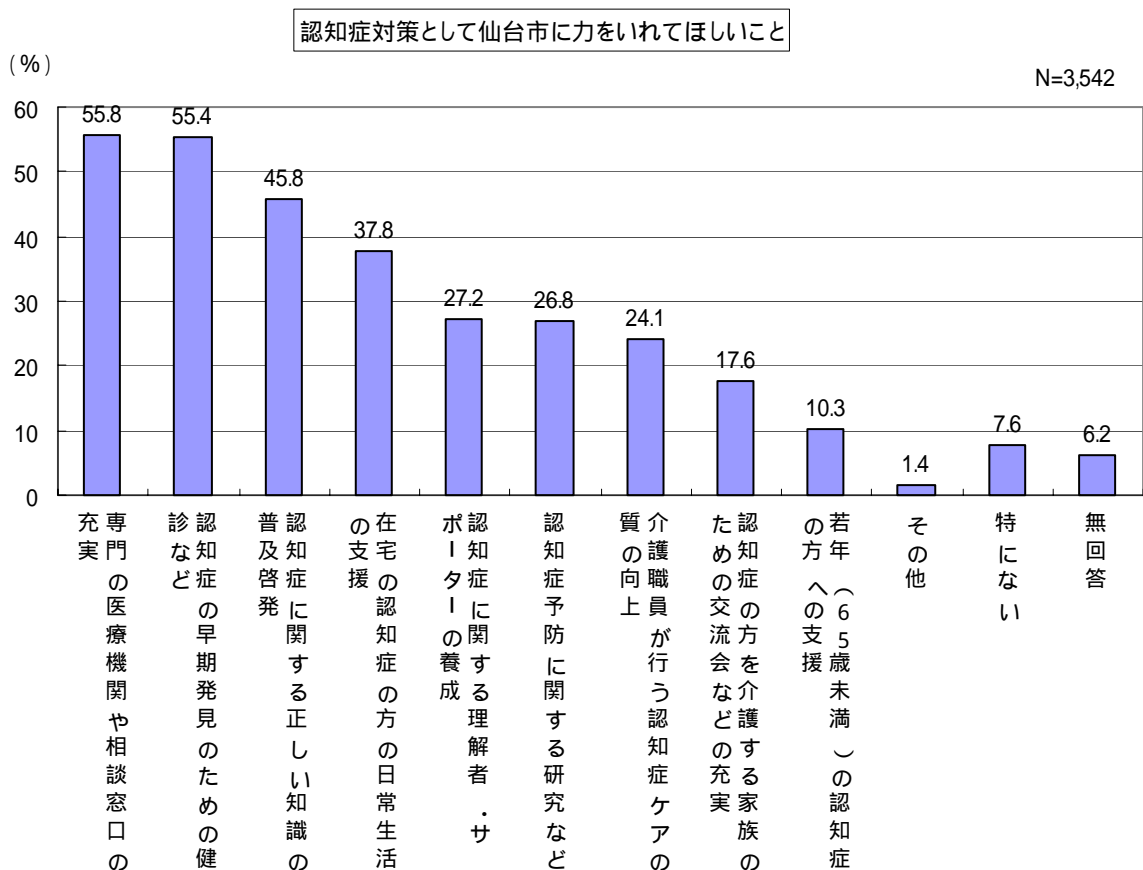


16 - (2) 認知症対策として仙台市に力をいれてほしいこと (複数回答)

問 25 - 2 ご本人が、認知症対策として、仙台市にこれから特に力をいれてほしいことは、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに)

- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| 1. 認知症に関する正しい知識の普及啓発 | 6. 在宅の認知症の方の日常生活の支援 |
| 2. 認知症に関する理解者・サポーターの養成 | 7. 認知症の早期発見のための健診など |
| 3. 専門の医療機関や相談窓口の充実 | 8. 若年(65歳未満)の認知症の方への支援 |
| 4. 認知症の方を介護する家族のための交流会などの充実 | 9. 認知症予防に関する研究など |
| 5. 介護職員が行う認知症ケアの質の向上 | 10. その他() |
| | 11. 特にない |

認知症対策として仙台市に力をいれてほしいことは、「専門の医療機関や相談窓口の充実」(55.8%)が最も多く、次に「認知症の早期発見のための健診など」(55.4%)、「認知症に関する正しい知識の普及啓発」(45.8%)、「在宅の認知症の方の日常生活の支援」(37.8%)が続いている。



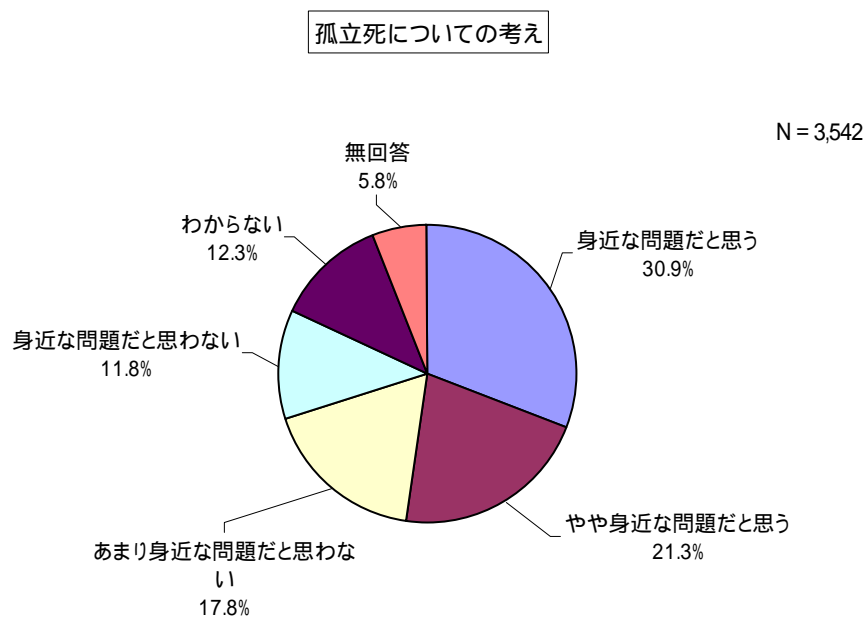
19. 孤立死について

19 - (1) 孤立死についての考え (単数回答)

問 29 - 1 ご本人は、孤立死について、どのように考えますか。(あてはまるもの1つに)

1. 身近な問題だと思う
2. やや身近な問題だと思う
3. あまり身近な問題だと思わない
4. 身近な問題だと思わない
5. わからない

孤立死についての考えは、「身近な問題だと思う」(30.9%)と「やや身近な問題だと思う」(21.3%)を合わせた、身近な問題と感じている人の割合が52.2%と5割以上を占める。一方で、「あまり身近な問題だと思わない」(17.8%)と「身近な問題だと思わない」(11.8%)を合わせた、身近な問題とは感じていない人の割合は29.6%と約3割である。



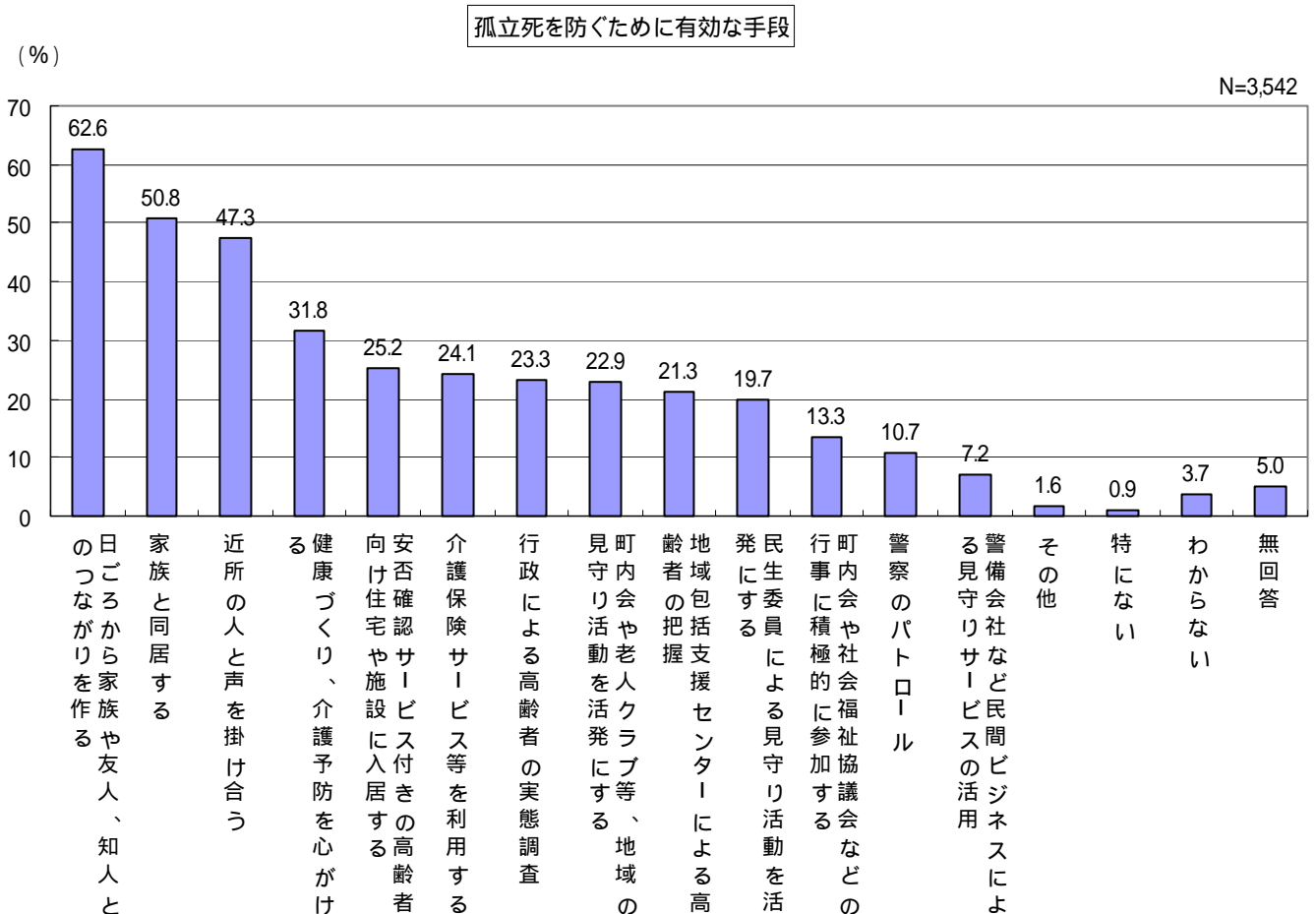
19 - (2) 孤立死を防ぐために有効な手段 (複数回答)

問 29 - 2 ご本人は、孤立死を防ぐためにどのようなことが有効だと思いますか。

(あてはまるものすべてに)

1. 安否確認サービス付きの高齢者向け住宅や施設に入居する	9. 地域包括支援センターによる高齢者の把握
2. 家族と同居する	10. 健康づくり、介護予防を心がける
3. 介護保険サービス等を利用する	11. 町内会や社会福祉協議会などの行事に積極的に参加する
4. 日ごろから家族や友人、知人とのつながりを作る	12. 行政による高齢者の実態調査
5. 近所の人と声を掛け合う	13. 警備会社など民間ビジネスによる見守りサービスの活用
6. 町内会や老人クラブ等、地域の見守り活動を活発にする	14. その他()
7. 民生委員による見守り活動を活発にする	15. 特にない
8. 警察のパトロール	16. わからない

孤立死を防ぐために有効な手段は、「日ごろから家族や友人、知人とのつながりを作る」(62.6%)と挙げた人が6割以上と最も多く、次に「家族と同居する」(50.8%)、「近所の人と声を掛け合う」(47.3%)、「健康づくり、介護予防を心がける」(31.8%)などが続いている。



仙台市介護保険事業計画策定のための 実態調査報告

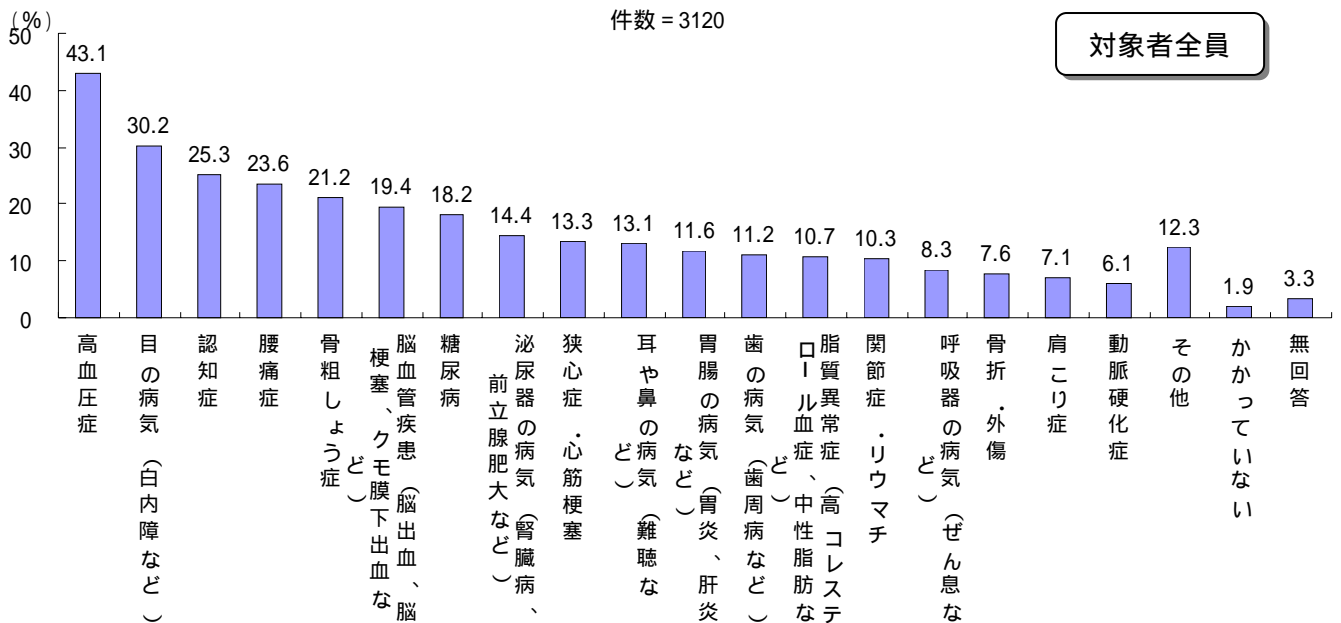
- 設問項目ごとの集計結果 -

< 調査項目 >

1. 調査対象者について
2. 在宅サービスの利用状況と満足度について
3. 利用者負担額と利用限度額について
4. 在宅サービスの利用意向について
5. 在宅サービスを利用していない人について
6. 介護保険以外のサービスの利用状況と今後の利用意向について
7. 地域密着型サービス等の利用状況と今後の利用意向について
8. 今後介護を受けたい場所と介護保険施設の入所申込み状況について
9. 施設入所者の状況について
10. サービス利用者の不満時の対処について
11. 利用者負担の負担感について
12. 保険料段階について
13. 仙台市の介護サービスについて
14. 安否確認について
15. 介護者について

(1) 傷病の状況

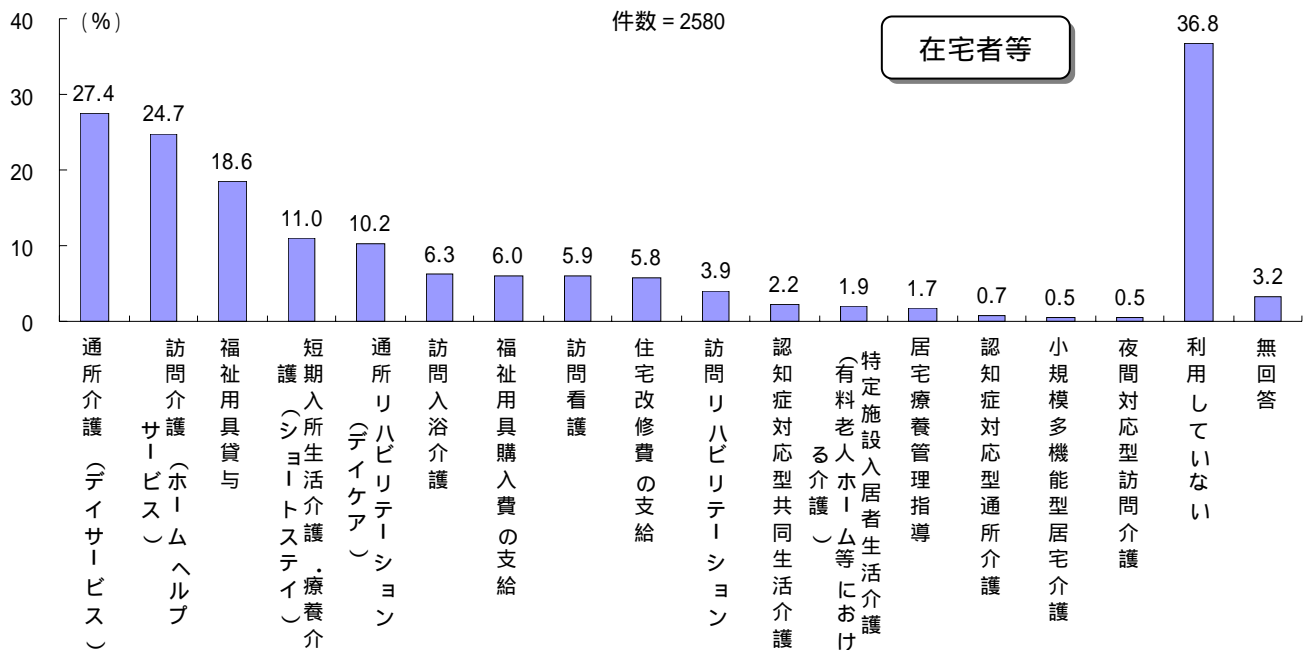
問 7 現在，次のような何らかの傷病にかかっていますか。(あてはまるものすべてに)



傷病の状況は、「高血圧症」が 43.1% で最も多く、次いで「目の病気(白内障など)」(30.2%)、「認知症」(25.3%)、「腰痛症」(23.6%) と続いている。

(2) 在宅サービスの利用内容

問 11 現在，介護保険のどの在宅サービス(介護予防サービスを含む)を利用していますか。(あてはまるものすべてに)

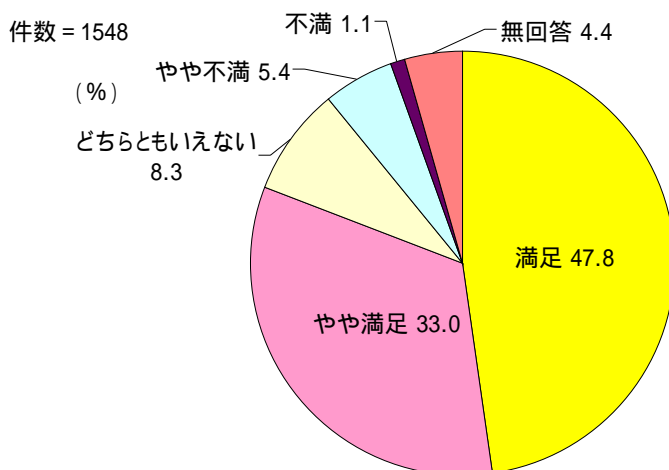


在宅サービスの利用内容は、「通所介護(デイサービス)」が 27.4% で最も多く、次いで「訪問介護(ホームヘルプサービス)」(24.7%)、次に「福祉用具貸与」(18.6%) となっている。

一方、「利用していない」人は 36.8% である。

(3) 在宅サービスの質や内容に対する満足度

問 13 現在利用している介護（予防）サービス（ケアプランも含まれます。）の質や内容に満足していますか。（あてはまるもの1つに ）



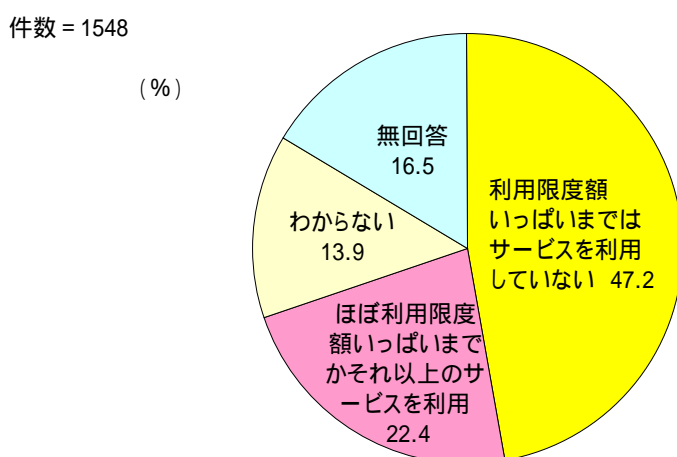
在宅サービス利用者

在宅サービスの質や内容に対する満足度は、「満足」（47.8%）、「やや満足」（33.0%）を合わせた《満足している》との回答が8割を超えている。

一方、「やや不満」（5.4%）、「不満」（1.1%）を合わせた《不満である》との回答は、1割未満にとどまった。

(4) 利用限度額に対する利用量

問 20 現在，利用限度額（1割負担でサービスを受けられる限度額）までサービスを利用していますか。（あてはまるもの1つに ）

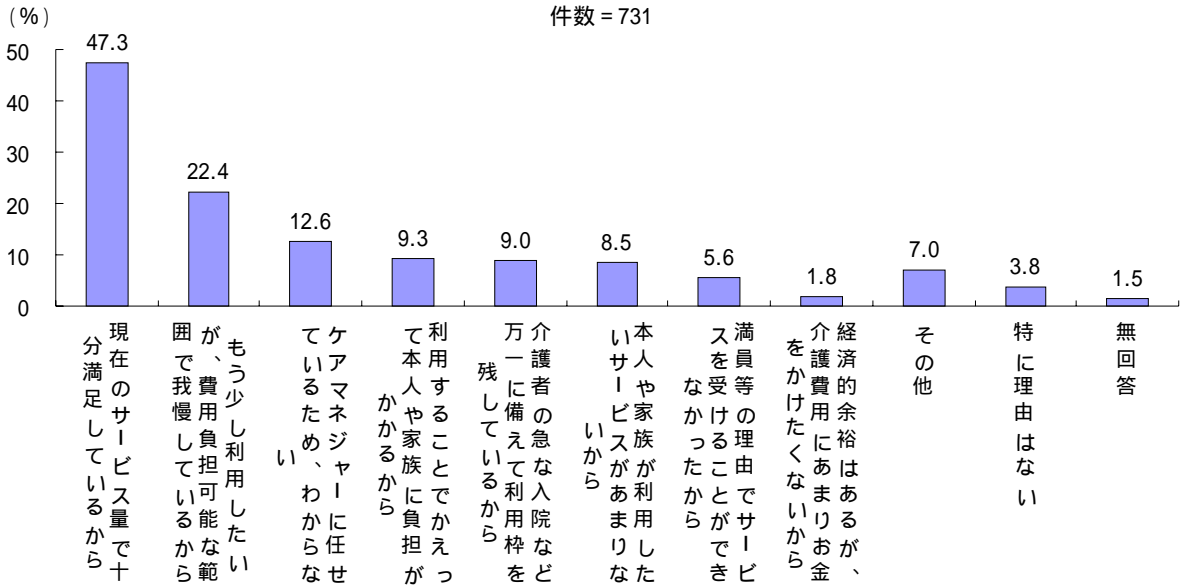


在宅サービス利用者

利用限度額に対する利用量は、「利用限度額いっぱいまではサービスを利用していない」（47.2%）が最も多く、「ほぼ利用限度額いっぱいまでか、それ以上にサービスを利用している」（22.4%）を大きく上回った。

(5) 利用限度額までサービスを利用していない理由

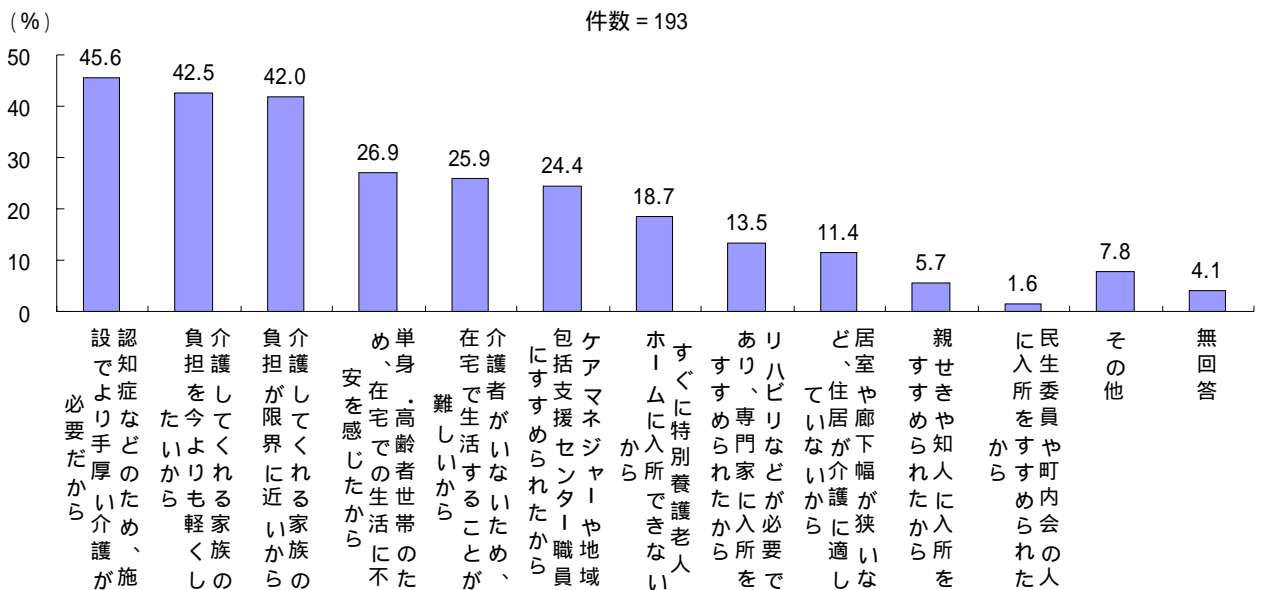
問 20 - 2 利用限度額いっぱいまでサービスを利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに)



利用限度額までサービスを利用していない理由は、「現在のサービス量で十分満足しているから」(47.3%)が最も多く、以下「もう少し利用したいが、費用負担可能な範囲で我慢しているから」(22.4%)となっている。

(6) 施設への入所申込み理由

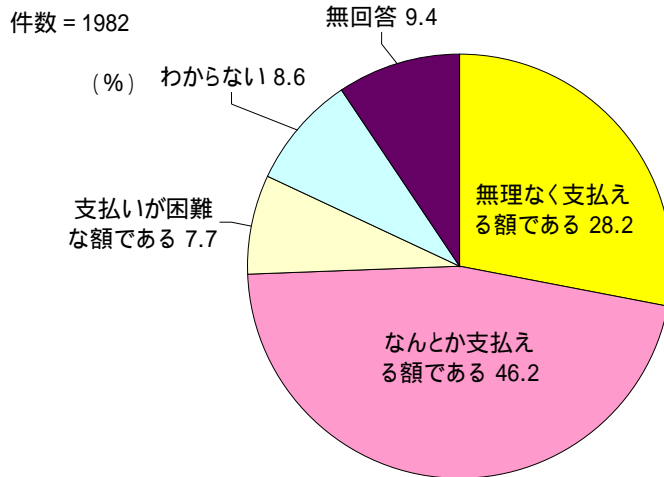
問 29 - 2 入所の申し込みをしている理由は何ですか。(あてはまるものすべてに)



施設(特別養護老人ホームまたは老人保健施設)への入所申込み理由は、「認知症などのため、施設でより手厚い介護が必要だから」(45.6%)が最も多く、次に、「介護してくれる家族の負担を今よりも軽くしたいから」(42.5%)、「介護してくれる家族の負担が限界に近いから」(42.0%)となっている。

(7) 利用者負担の負担感

問 34 介護サービスを利用する際に支払っている利用者負担（サービスに要する費用の1割と施設の食費・居住費）について、ご本人はどのように感じていますか。
（あてはまるもの1つに ）

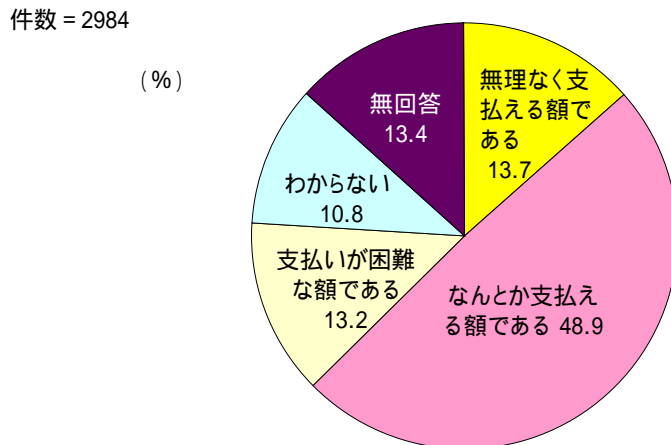


介護サービス利用者

利用者負担の負担感は、「なんとか支払える額である」が46.2%となっており、「無理なく支払える額である」(28.2%)と合わせると、支払える額であるとの回答は約7割となっている。

(8) 保険料の負担感

問 38 現在の保険料額をどのように感じていますか。（あてはまるもの1つに ）



65歳以上全員

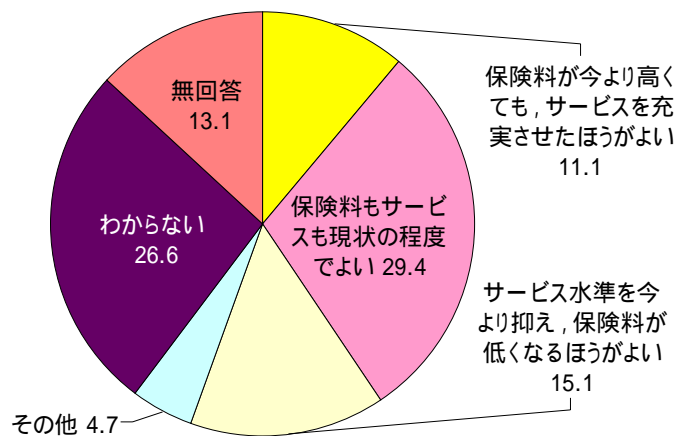
保険料の負担感は、「なんとか支払える額である」(48.9%)が最も多い。なお、「支払いが困難な額である」と回答した人は13.2%であった。

(9) 保険料と介護サービスのあり方

問 41 介護保険料の基準額は、介護（予防）サービスの利用量によって決まります。したがって、施設が増えたり、サービスが充実したりなどして利用量が増えると、保険料も増加することになります。このことを踏まえ、保険料とサービスのあり方について、ご本人の考えに最も近いものは次のうちどれですか。（あてはまるもの1つに ）

件数 = 2984

(%)



65歳以上全員

保険料と介護サービスのあり方は、「保険料も介護サービスも現状の程度でよい」が29.4%で最も多い。以下、「サービス水準を今より抑え、保険料が低くなるほうがよい」(15.1%)、「保険料が今より高くても、サービスを充実させたほうがよい」(11.1%)となっている。

なお、「わからない」との回答は26.6%となっている。